

# パラスポーツと共生社会 第1回調査報告

2020年3月

公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンター  
パラリンピックリサーチチーム

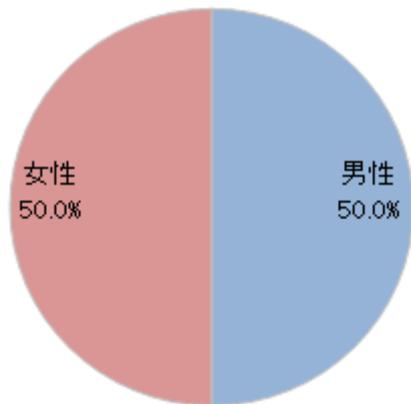
# ■ 調査概要

<b>調査目的</b>	パラスポーツ（障がい者スポーツ）が障がい者との共生意識に及ぼす影響を明らかにすることを目的に本調査を実施した。
<b>調査項目</b>	10問（長野県*のみを対象したQ1とQ4と、自由回答であるQ2は本調査結果から除外） （Q3）共生社会に関する言葉の認知度 （Q5）パラスポーツに関する経験 （Q6）パラスポーツに対する意識 （Q7）身近な障がい者の有無と障がいに関する経験 （Q8）障がい者の困りごとを解決するために必要なこと （Q9）障がい者に対する手助け意識・行動 （Q10）現在・理想の社会イメージ
<b>調査対象</b>	全国12歳以上の男女10,506人（各都道府県206人 長野県1,030人*）
<b>調査期間</b>	2019年9月27日～29日
<b>調査方法</b>	Web調査
<b>調査実施委託機関</b>	株式会社マクロミル

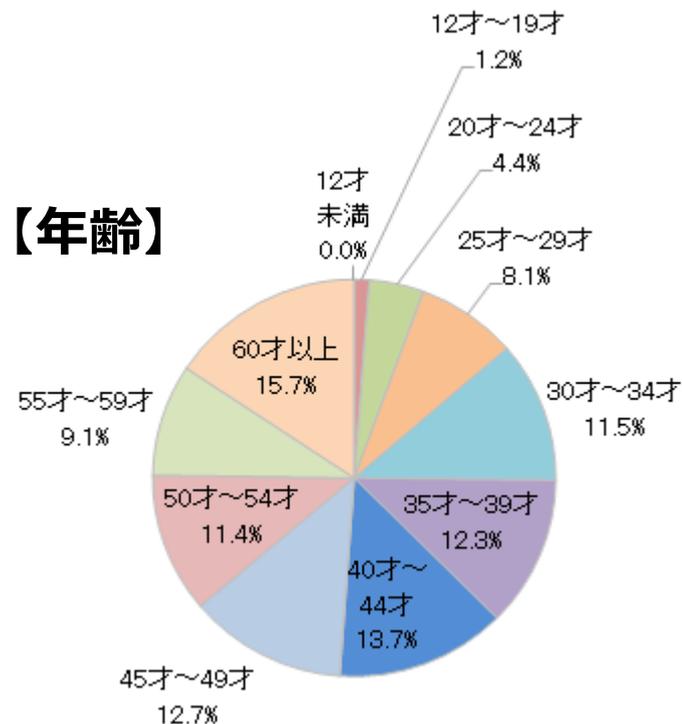
\* 日本財団パラリンピックサポートセンターがプロジェクトパートナーとして関わっている長野県のプロジェクト「長野県における障がい者スポーツ振興事業（NAGANOパラウェブ）」の効果を検証するために、長野県のみを対象とした項目（Q1、Q4）を設け、他の都道府県よりサンプル数を増やし調査を実施した。

# ■プロフィール (n=10506)

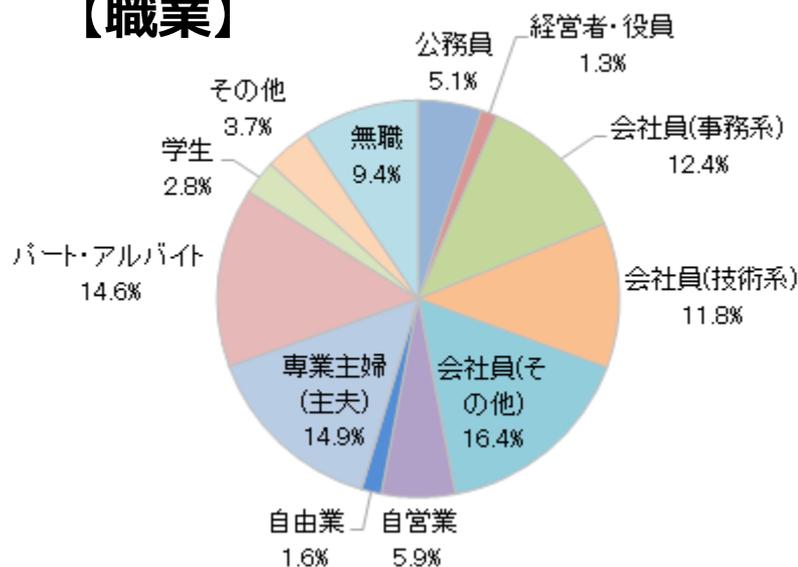
## 【性別】



## 【年齢】



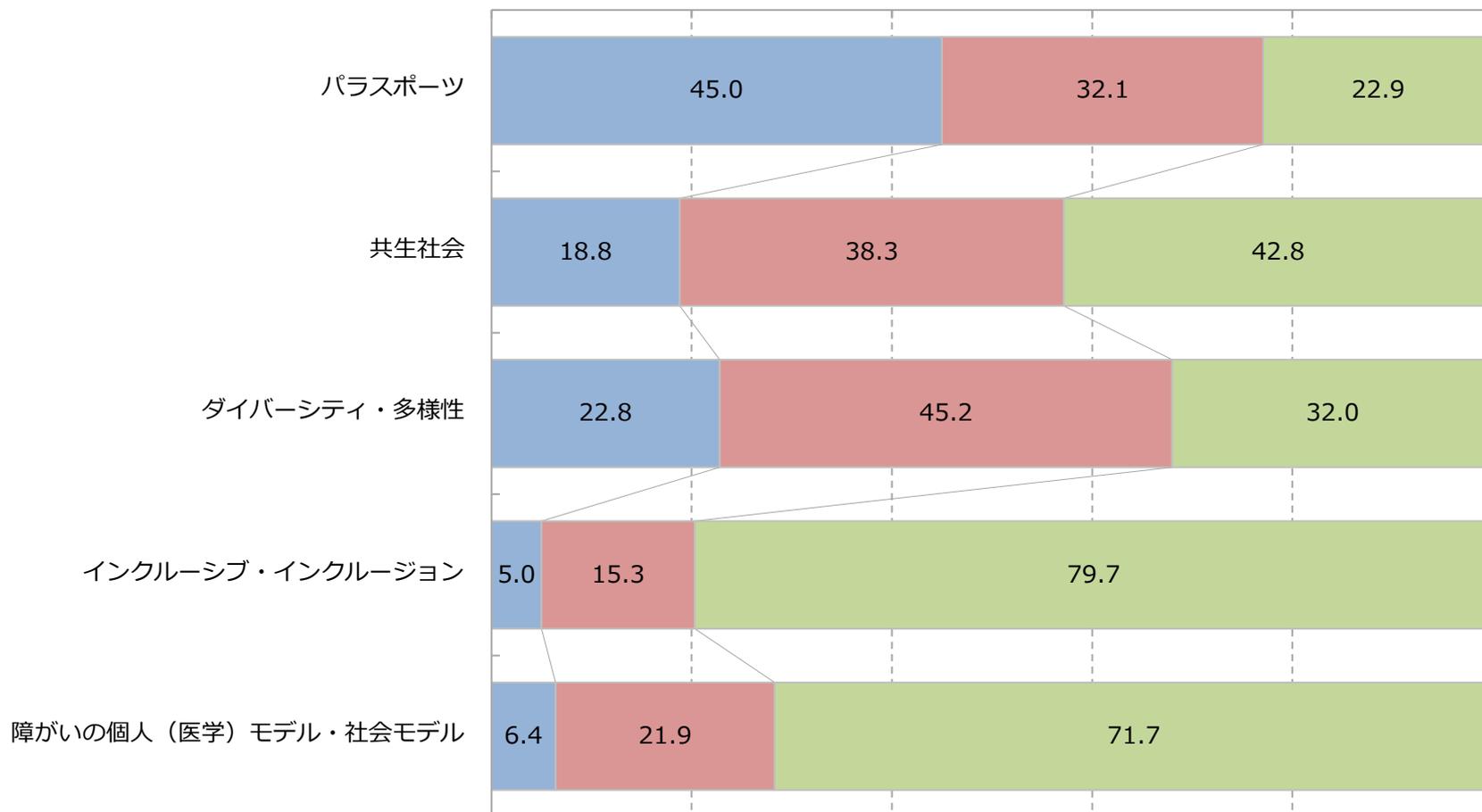
## 【職業】



# 【Q3】あなたは以下の言葉を知っていますか。（それぞれひとつ）

■ 知っている ■ 言葉だけは聞いたことがある ■ 知らない (n=10506)

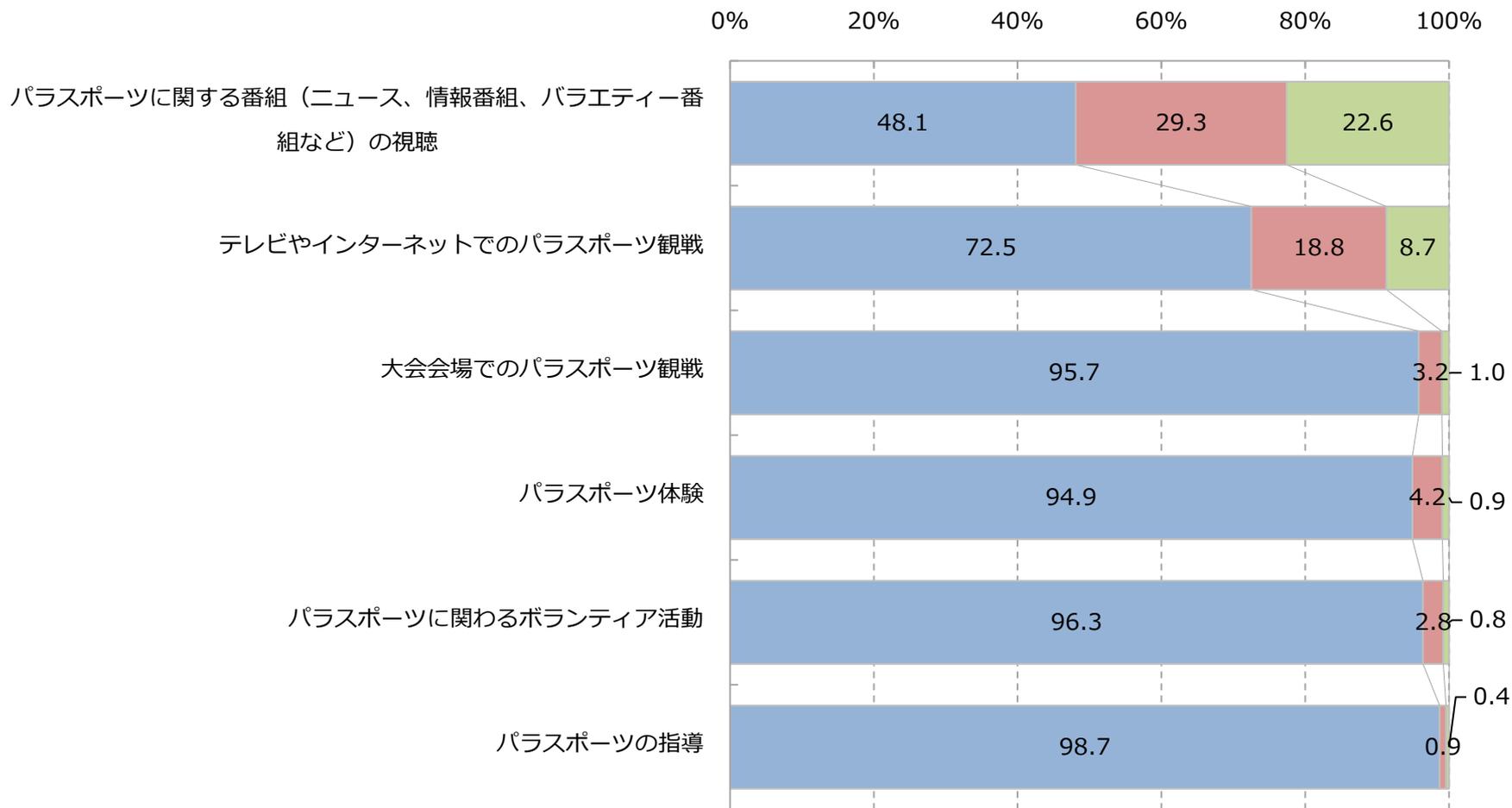
0% 20% 40% 60% 80% 100%



# 【Q5】あなたは以下のパラスポーツに関連する経験をしたことがありますか。ある場合は回数をお答えください。（それぞれひとつ）

■ 経験なし ■ 1~2回 ■ 3回以上

(n=10506)

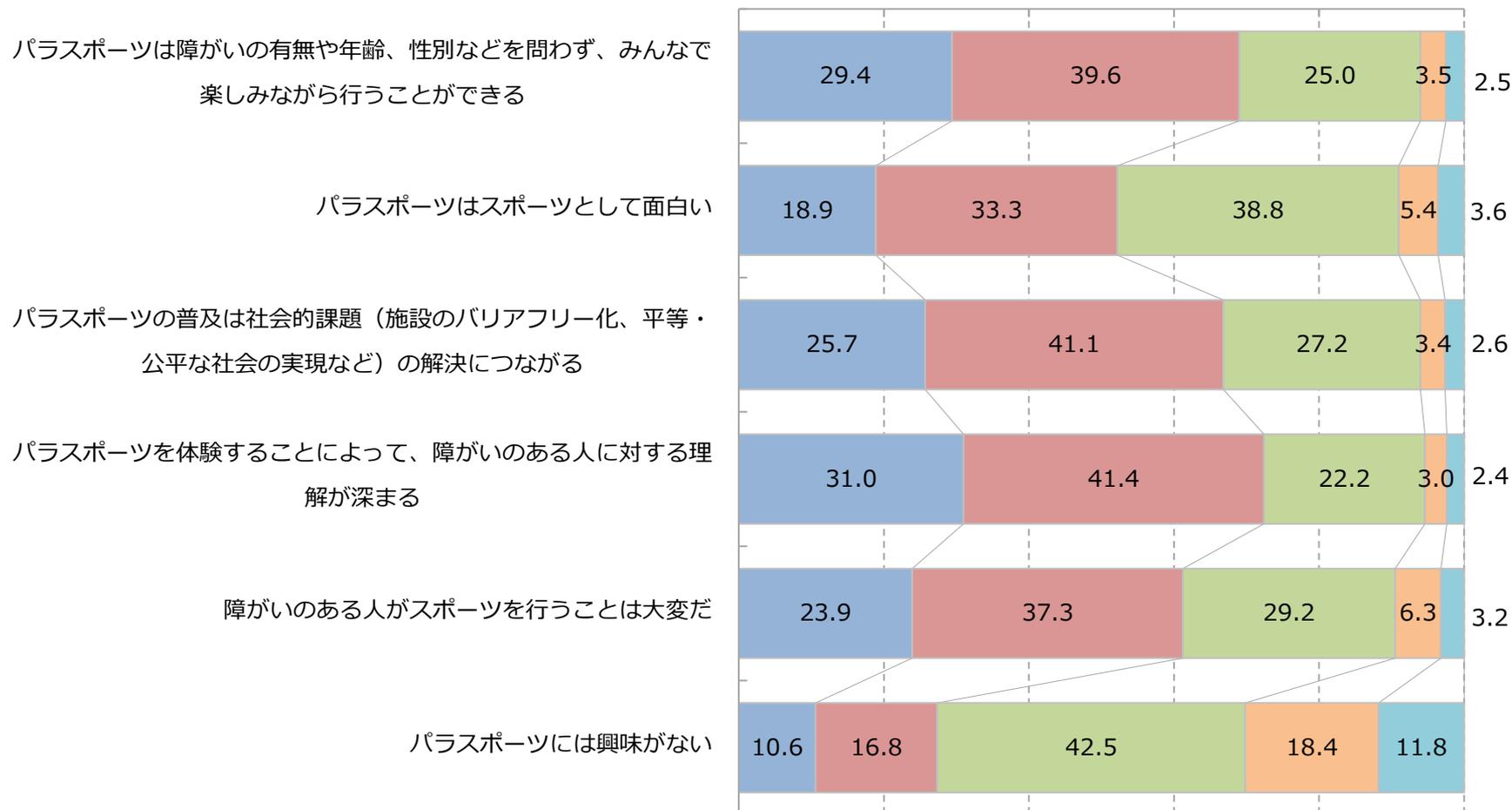


# 【Q6】あなたはパラスポーツに対してどのような考えをお持ちですか。 (それぞれひとつ)

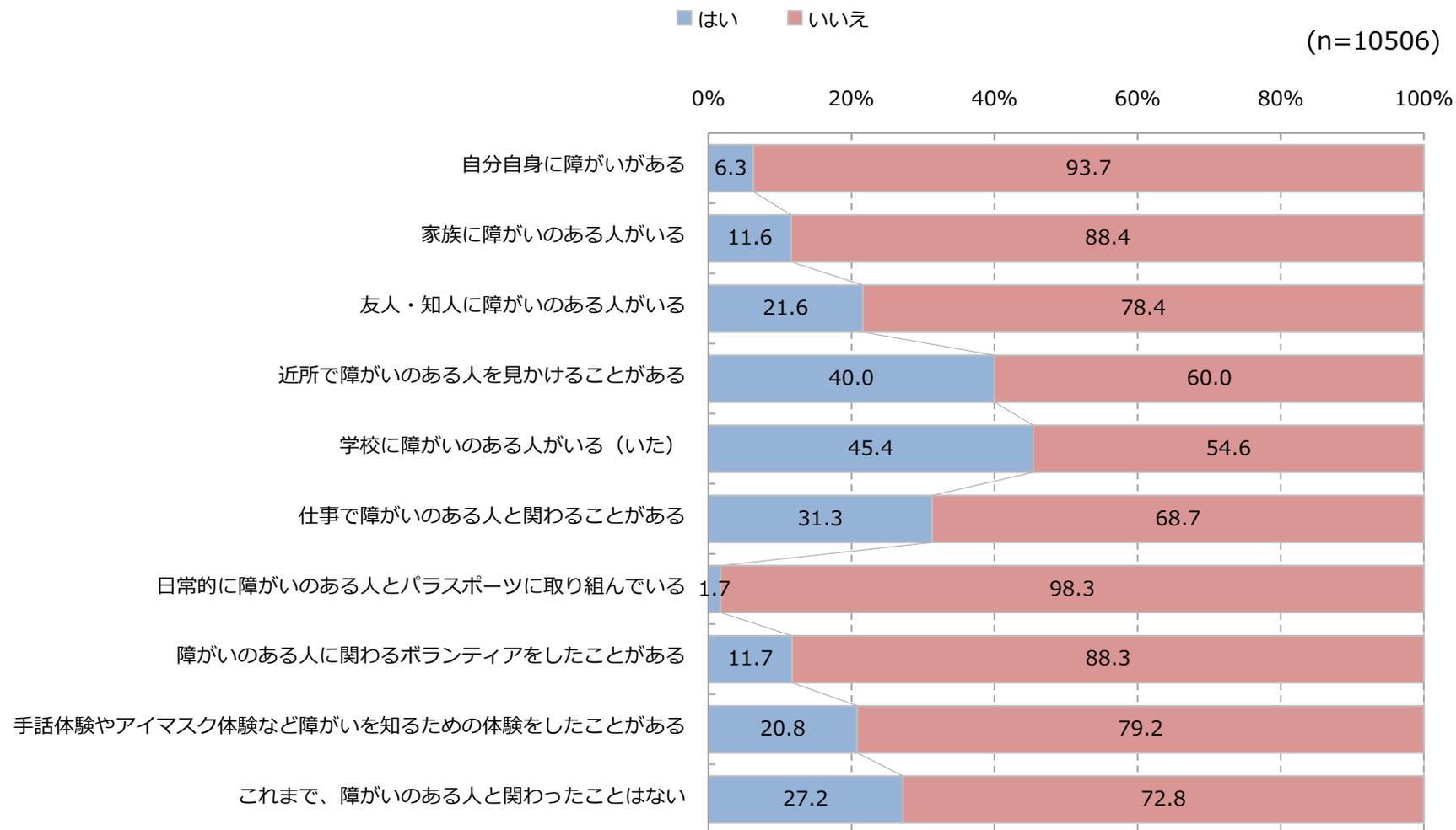
(n=10506)

■ そう思う   ■ どちらかといえばそう思う   ■ どちらとも言えない   ■ どちらかといえばそう思わない   ■ そう思わない

0%   20%   40%   60%   80%   100%

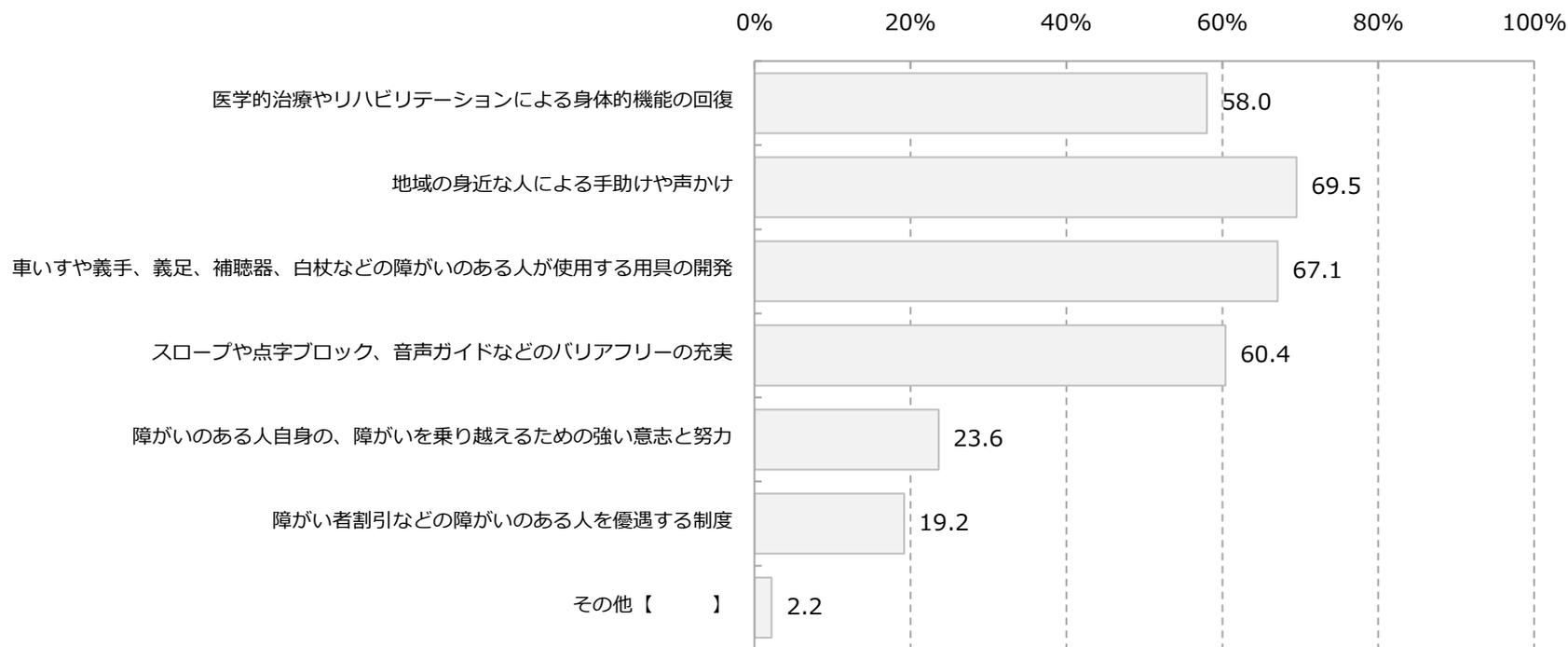


**【Q7】 あなたご自身、またはあなたの身近に障がいのある人はいますか。また、あなたは以下の体験をしたことがありますか。（ここでの「障がい」は、身体障がい、精神障がい、知的・発達障がいを指します。）**

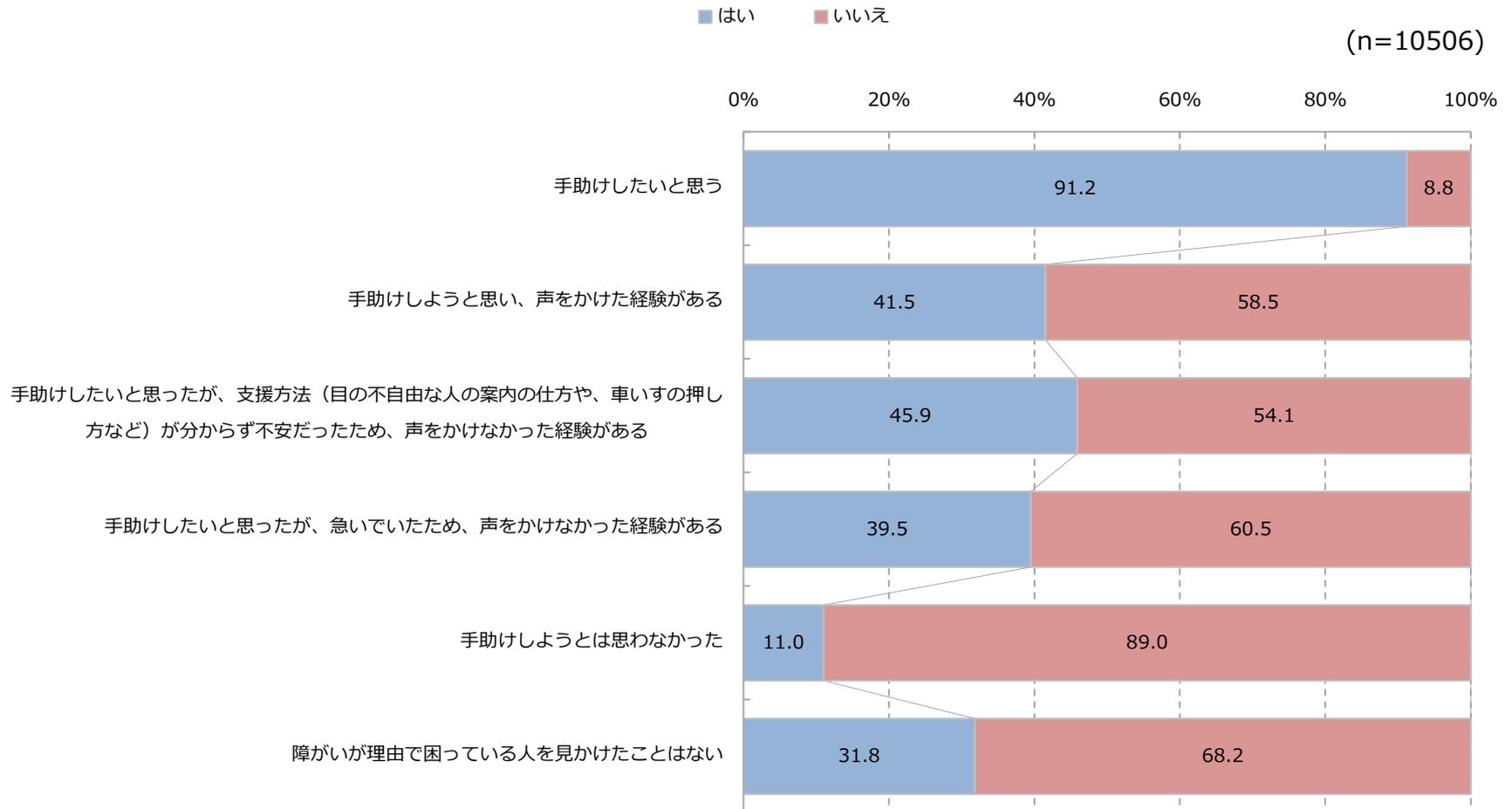


**【Q8】あなたは、障がいのある人の困りごとを解決するためにはどのようなことが必要だと思いますか。以下の項目から重要だと思うものを必ず3つ選択してください。**

(n=10506)



# 【Q9】あなたは障がいのある人が困っているとき（目の不自由な人が道に迷っているとき、車いすに乗っている人が段差の前にいるときなど）に、手助けしたいと思いますか。また、実際にどのような経験がありますか。



**【Q10】 現在あなたを取り巻いている社会のイメージとしては、以下のどの図が当てはまりますか。また、あなたが思い描く理想の社会のイメージとしては、以下のどの図が当てはまりますか。（それぞれひとつ）**

